

地域とともに！長町中防災訓練

昨年度は、全校生徒を対象に行ったが、今年度は、1年生全員を対象に行った。ねらいは、「非常時に地域の中で、進んで活動することのできる力を育てる」ことである。

訓練の内容は、クロスロード、仮設トイレ設置訓練、災害用伝言ダイヤル訓練、炊き出し訓練、避難所物資搬出訓練の5つを準備した。約250名の1年生全員にクロスロードを行った後に、約60名の4グループ分け、残り4つの訓練のうちの2つを行うものである。訓練には、区役所、消防署、社会福祉協議会、NTTなどの協力のもと、それぞれ地域の方々も参加し、町内会長をはじめとする地域の方と中学生と一緒に活動する場面も多々あった。

将来的に避難所運営に携わる方々も参加され、共に取組むことにより中学生が地域の中でどのような役割を担うことができるのか、その期待されることを直接地域の方が認識できる場ともなった。

① 日程と内容 平成25年10月26日(土)実施

時 程	内 容			
~8:20 8:20~8:30 8:30~8:45 8:45~9:00 9:00~9:45 9:45~10:00 〇	登校 出席確認・連絡・確認・トイレ 体育館移動 開会行事 クロスロード(全員) 移動・トイレ			
	班 別 活 動			
	I	II	III	IV
10:00	仮設トイレ設置訓練	避難所物資搬出訓練	災害用伝言ダイヤル訓練	炊き出し訓練
11:30	災害用伝言ダイヤル訓練	炊き出し訓練	昼食	昼食
13:00	昼食	昼食		
13:45	後片付け	後片付け	後片付け	後片付け
13:50~14:10	閉会行事(体育館)			
14:15~14:30	帰りの会・下校			

② 訓練概要

ア) 開会行事

- ・ 地域や関係諸団体各団体からの自己紹介、生徒代表挨拶など

イ) 一斉クロスロード



容易には正解・不正解と判断し難い実際の例に即した設問に、あえてYes・Noの判断を下すことを通して、防災を「他人事」ではなく「我が事」として考え、同時に相互に意見を交わすことをねらいとした集団ゲームである。例えば「人数分確保できていない緊急食料を、それでもすぐに配るか？」など、太白消防署の方を講師として招き活動を行った。



ウ) 災害用伝言ダイヤル

伝言ダイヤルNTT-171の実際の体験，また使い方をDVDで学んだり，パソコンから自宅の電話や携帯に伝言メールを送付したりする。NTTから，講師の方を招き，その必要性も含めて，60名程度の班を更に20名程度の3つのグループに分けローテーションで講師の方の説明を受けた。

エ) 炊き出し訓練

太白区役所からアルファ米の援助を受け，地区の日赤奉仕団の方々の協力を頂いて，アルファ米を実際を使って，避難所の食事（炊飯方法）を体験した。また，日赤方式（ビニール袋に無洗米と水を入れ輪ゴムで縛ったものをお湯の中で湯がく方法）での炊飯方法を実践し，実際に参加した全ての人の昼食にあてた。



オ) 仮設トイレ設置



環境局廃棄物管理課の指導のもと，実際に仮設トイレの設置・撤去を行い，その組み立て方法を学ぶ。洋式トイレ・和式トイレをそれぞれ4台用意し，各8人程度の少人数で行った。

カ) 避難所物資搬出訓練

避難所運営に欠かせない備蓄物資を倉庫から搬出運搬する訓練である。物資の数を確認した後，すぐに使い出せるように整理・整頓し，倉庫にしまった。町内会の方々も見守る中，避難物資の量と保管状態を確認していただいた。

キ) 閉会行事

- 各班生徒代表の感想発表や，各団体からの指導や励ましの言葉など。

③ 生徒の感想

- 3・11の時に小学生として何もできなかった自分が歯がゆかった。これからは少しは役に立てると思う。
- アルファ米や日赤方式での調理は初めての経験でした。本当は，災害が起きた時でないで体験できないと思うので，このような機会があってよかったと思いました。
- 災害などがもし起こったとき，役に立ちたいと思った。

